

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- “であい・ふれあい・学びあい” の霧丘
～今、ふれあい農園を通じて～
……北九州市立霧丘市民センター
- 町の歴史を学ぶ公民館主催講座 ……篠栗町中央公民館
- 若い世代の学びを応援する公民館活動
～「わかもん講座」を通して～ ……大川市中央公民館
- 暮らしの大学講座 ……糸田町町民会館

こちら県公連

- 令和4年度福岡県公民館実践交流会報告

令和5年3月 公民館情報通巻155号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

特色ある公民館活動

ふれあい農園
〈北九州市〉



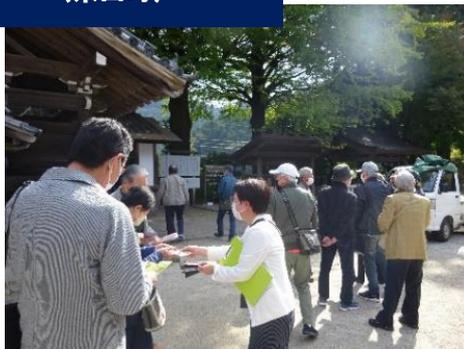
歴史講座
〈篠栗町〉



写真講座
〈大川市〉



暮らしの大学講座
〈糸田町〉



“であい・ふれあい・学びあい”の霧丘 ～今、ふれあい農園を通じて～

北九州市立霧丘市民センター

【地域の概要及び経緯】

足立山の山麓に位置する霧丘校区は、近くに平和公園、森林公園、妙見宮があり、春夏秋冬多様な自然の営みを見せてくれる閑静な住宅街で、「あいモードタウン霧丘」のキャッチフレーズをモットーに「であい・ふれあい・学びあい」の地域づくりを行っています。

霧丘校区まちづくり協議会には以前「ボランティア部」があり、校区にある未利用市有地を管理するという条件で農園活動を開始し、その活動を軸に地域の活性化を図ってきました。しかし平成29年ごろメンバーの高齢化によりボランティア部は解散、畑は荒れ、管理もままならず周辺の防犯対策もできない状況となりました。

またボランティア部は、校区行事の担い手でもあったことから、解散により地域の協力体制が弱くなり、更にコロナ禍による行事の中断が地域コミュニティの希薄化にも拍車をかけてしまいました。このような状況の中、令和3年7月、属性に関わらない交流の場をつくるため、まちづくり協議会と共催で「ふれあい農園」を新たに立ち上げることになりました。住民同士のつながりや絆を深め、地域の活性化を目指します。

【活動内容】

「ふれあい農園」は毎月第1・3土曜日の朝8時から1時間程度活動しています。畑作業に詳しい方をリーダーに、老若男女24名が除草作業、苗植え、収穫、水やりなどを楽んでいます。活動は畑作業だけでなく、2ヶ月に1度ミーティングを開き活動計画を話し合ったり、野菜収穫後は収穫祭を実施するなど、参加者同士のつながり作りを行っています。



【ただ今、収穫中】



【こんなに採れました】

【成果と課題】

日頃の畑作業を通して参加者同士の絆が少しずつ深まっています。特に収穫した野菜を楽しむ収穫祭では、農園参加者の達成感だけに留めず、まちづくり協議会の食生活改善推進員の会に“野菜ごろごろコンソメスープ”を調理していただき、校区の方にも採れたて野菜を存分に味わっていただくことができました。事前準備に、ふれあい農園の活動紹介パネルを農園参加者と一緒に作成したり、収穫祭当日の運営を一緒に行ったりしたことは、地域での支え合いや助け合いの意識づけになったのではないかと思います。

今後も更に地域の活性化を目指すには、農園参加者の主体性を今以上に引き出すこと、幅広い世代のメンバーを増やすことがカギを握っていると考えます。市民講座や楽しいイベントなどを実施しながらふれあい農園の参加者を増やし、この地域で暮らせて幸せ、ずっとここに住みたいという住民を増やしていきたいです。そしてその方たちが地域づくりの担い手となり、地域の問題点を出し合い解決策を見出していくような人材になってほしいと願っています。

【問合せ先】 北九州市立霧丘市民センター

〒802-0051 北九州市小倉北区黒原二丁目 30 番 30 号

TEL / FAX 093-922-7365

町の歴史を学ぶ公民館主催講座

篠栗町中央公民館

【地域の概要及び経緯】

篠栗町は、福岡市内から東に約 12 キロメートルのところに位置する、人口約 31,000 人の町です。鉾立山・八木山・若杉山の峰々に囲まれた緑豊かな町で、総面積の約 7 割に山林が広がり、町内各地に歴史的な遺産や施設などが数多く点在しています。

クリエイト篠栗の愛称で親しまれている篠栗町中央公民館では、毎年様々な公民館主催講座を開催しており、その中で町の歴史や文化財について学び、町の魅力を再発見してもらうための歴史講座を開催しています。

【活動内容】

歴史講座は、篠栗町の文化財担当職員が講師を務め、前半ではパワーポイントを用いて歴史や文化財についての説明を行い、後半では現地に行って、実物を見ながら解説を行っています。これまでに開催した講座の中から主な内容を紹介します。

①若杉山修験道について

若杉山に残された史跡や文化財を紹介し、講義形式で説明をした後、マイクロバスに乗り合わせ、実際の史跡、文化財を巡るフィールドワークを行いました。

②珪化木について

国内でも珍しい直立した珪化木の化石群のある九大演習林を訪ね、その生い立ちに触れながら古代の歴史を学ぶ講座を開催しました。

③九州歴史資料館について

九州歴史資料館に収蔵されている若杉山の県指定の仏像や狛犬などの文化財を紹介した後、実物を見ながら講師が解説を行う講座を開催しました。



【講座の様子】



【フィールドワークの様子】

【成果と課題】

参加者は、篠栗町で生まれ育った方から、最近町に引っ越してきたばかりの方まで様々ですが、「篠栗町の歴史について学び、もっとこの町が好きになった」、「歴史に苦手意識があったが楽しく学ぶことができた」という感想もあり、リピーターも多い大変人気の講座となりました。

現地へ車での移動を伴うことから、参加者が 15 名程度に限られることや、新型コロナウイルス感染症対策が難しいことなどの課題もありますが、今後も多くの学びの機会を提供できるような講座を開催し、魅力的な公民館であるよう努力していきます。

【問合せ先】 篠栗町中央公民館（クリエイト篠栗）

〒811-2417 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目 9 番 1 号

TEL 092-948-2222 FAX 092-948-2636

若い世代の学びを応援する公民館活動 ～「わっかもん講座」を通して～

大川市中央公民館

【地域の概要及び事業の経緯】

大川市は、県の南西部に位置し、有明海に注ぐ筑後川の河口に面した木工のまちです。本市には公立の中央公民館が1館、校区コミュニティセンターが6館、自治公民館が80館あります。それぞれ特色ある取組がなされているものの、利活用は高齢者が多い傾向にあります。

大川市中央公民館においては、市民学習講座、市民大学講座、高齢者学級、女性学級、家庭教育学級の5つの連続講座を開講していますが、家庭教育学級以外の講座は60～80代の高齢者が大半を占めている状況です。そこで、持続可能な取組の観点からも、もっと幅広い年代の市民に学びの機会を提供したいと考えました。

どんな講座を、どの年代に、どう周知していくか、どのように次年度以降に繋いでいくのかなど初年度ならではの課題があがってきました。今回、ターゲットを10代から50代に絞り、若い世代を応援する単発講座「わっかもん講座」と名付けて開講しました。

【活動内容】

日常生活や仕事上で感じる困り感を解決したり、家族で一緒に楽しむ機会を提供したりして、若い世代の豊かな生活を応援できればと考え、「睡眠に関すること」「子供が参加できる講座に関すること」「写真に関すること」の3つの講座を行うことにしました。

特に写真講座は「映える写真を撮りたい！」と人気を集めました。スマホ向け、レンズ交換式カメラ向けと分けて行い、高校生からご年配の方まで幅広い世代が受講しました。市内の家具ブランドに協力をお願いし、ショールームで撮影を行ったのもより良い学びに繋がりました。

周知については、若い人主体ですので市報、チラシはもとより、Twitter等を活用して広めるようにしました。申し込みは、LoGoフォームなども活用して幅広く行いました。



【睡眠の知恵袋講座】



【キッズダンス講座】



【写真講座】

【成果と課題】

受講後のアンケートでは、幅広い世代から「近場で学ぶ機会があって嬉しい」「もう一度受講したいです」という声が寄せられ、おおむね好評でした。また、SNS等を活用することにより、中央公民館の取組やリアルな様子などを多方面に発信することができました。一方の課題は、学習ニーズの把握、講師の発掘などがあげられます。中でも一番の困難は、単発講座ということもあり、広報が行き届かず募集しても人が集まらないことでした。今後は広報に力を入れつつ、コロナ禍であっても気軽に参加してもらえるように、オンライン講座の環境整備を実現していきたいと思っています。

【問合せ先】 大川市中央公民館

〒831-0016 大川市大字酒見221-11

TEL 0944-88-0015 FAX 0944-88-0017

【地域の概要及び経緯】

糸田町は、福岡県のほぼ中央に位置する町です。烏尾峠の麓にあり、面積は 8.04 平方キロメートル、東西 3.5 キロ・南北 2.5 キロの小さな町です。糸田町町民会館は、平成 14 年に建てられ、糸田町図書館、糸田町歴史資料館の複合施設であり、様々な活動がこの町民会館で行われています。その中の活動の一部を紹介します。

【活動内容】

くらしの大学講座は、平成 10 年から糸田町生涯学習の要として始めた講座です。年間約 6 回の講座を実施しております。講演会やバス研修を実施し、例年、募集定員いっぱい、参加者の申し込みがあります。

現在では、参加者の中から運営委員を選出し、話し合いを重ねながら、各年度の講座やバス研修などを実施しています。

本年度の学習内容は以下の通りです。

- 第 1 回：開講式『身近な事件・事故の実態・防犯・安全教室』
- 第 2 回：エンディングノートの書き方（老後の設計図）
- 第 3 回：糸島・福岡の歴史をめぐる
（雷山千如寺・平原歴史博物館・福岡市博物館）
- 第 4 回：スマートフォン・タブレットの安全安心な付き合い方
- 第 5 回：閉講式『生きる希望を歌にのせて～風のように～』



【開講式の様子】



【バス研修の様子】

第 2 回エンディングノートの書き方については、終活という言葉の起源から始まり、超高齢化社会の問題、一人暮らしの増加や相続をめぐるトラブルの増加、終活に欠かせないエンディングノートの活用法について資料を基に説明されました。実際に「エンディングノート」を書くことによって、今を大切に生きることや、周りの方との関係を見直すきっかけにしてほしいという講師の話に、受講生は感銘を受け「早速書きます」との声が挙がっていました。

第 3 回バス研修では、講座生の交流と「ホンモノ」に出会うことをねらいとし、毎年各地を訪問しています。今年度は久しぶりの実施となり、糸島市の伊都国歴史博物館収蔵の銅鏡や福岡市博物館の「金印」等、長い年月を経て、現在に至る国宝の姿に圧倒され、参加者からは「国宝級の物を見る機会はめったにないので感動した」という声が多くあり、有意義な研修となりました。コロナ禍の中、中止を余儀なくされる時もありましたが、毎回 50 名を超える参加者は熱心に学習を続けています。

【成果と課題】

生涯学習の要として、積極的に学習に参加される方々が地域の模範となり「学ぶ意欲」が町全体を活気づける原動力となっている点が大きな成果であると考えます。

課題は、学習者の高齢化と、裾野の広がりをもどのように作りつなげていくのか、継続していくための学習内容の工夫や安心して受講できる環境づくりだと考えています。

【問合せ先】 糸田町町民会館

〒822-1392 福岡県田川郡糸田町 2023-1

TEL 0947-26-0038 FAX 0947-26-2526

令和4年度 福岡県公民館実践交流会 ～ 報 告 ～

▶はじめに

10年に一度という寒波の中、大会の開催が危ぶまれましたが、令和5年1月26日(木)、宗像ユリックスにて令和4年度福岡県公民館実践交流会を開催しました。新型コロナの影響もあり、令和2、3年度は書面での開催となりましたが、3年ぶりに対面で会を行うことができました。当日は、県内各地から525名の公民館等関係者に御参加いただきました。



【福岡県公民館連合会会長挨拶】

▶概要

開会行事の後は、「ボランティア活動」「団体育成・サークル活動」「家庭教育」「高齢者教育」「人権教育」「学社連携・融合」「自治公民館活動」「青少年教育」の8分野、8事例の実践発表を3会場に分かれて実施しました。各会場での質疑応答の時間には、活発な意見交流が行われました。



【第1会場 (イベントホール)】

▶交流会を通して

3年ぶりの開催ということもあり、例年に比べ初めて参加される方も多かった中、福岡県内それぞれの地域での様々な立場からの発表に刺激を受けた参加者もいらっしゃいました。アンケートでは98%の方から「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な評価をいただき、「どの地域も独自性があり、興味深いと思った。」「どの分科会も大変充実した発表で、すぐ役に立つものでした。このヒントを持ち帰って、ぜひ何らかの形で実践していきたいと思います。」などの感想もありました。



【第2会場(ハーモニーホール)】

▶おわりに

コロナ禍で活動が制限される中、どの地域でも苦勞され、工夫して取り組んできた実践発表は、参加者の方々にとっても良い学びの機会となりました。実践発表いただいた皆様、ありがとうございました。また、それぞれの地域の違いを踏まえ、取組を自分の地域にも何とか活かそうとする参加者の方の熱意には、頭が下がる思いです。関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、今後も充実した交流会が継続できるよう努めてまいります。



【第3会場 (会議室1・2)】

次年度の実践交流会は令和6年1月25日(木)、本年度と同じ宗像ユリックス(宗像市)で開催予定です。たくさんの方々の御参加をお待ちしております。